

以下は Cnet News.com に載った ReadNotify.com の紹介記事の紹介です。

(源データ ; http://news.com.com/2300-1029_3-6121066-1.html)

記事タイトル; ReadNotify's tracking service

September 28, 2006 6:35 PM PDT

画面1



議会の公聴会の席でヒューレットパッカード社の調査員 Fred Adler 氏は、CNET News.com レポーター Dawn Kawamoto に送信した電子メールに会社がどの様にバグを入れたかを説明しました。HP は ReadNotify.com のサービスを使用しました。これは電子メールメッセージやファイルにバグを埋め込む

オンラインサービス企業の 1 つです。これは ReadNotify ホームページのスクリーンショットです。

画面2



これは ReadNotify サービスサイトのページのスクリーンショットです。ここではメールを追跡指定する方法を説明しています。ユーザは自分のメールアドレスを登録し、そのメールアドレスから追跡したいメールを送信するときはその宛先メールアドレスの末尾に

“.readnotify.com”を付加します。これは、このメールの受信者には見えませんが、

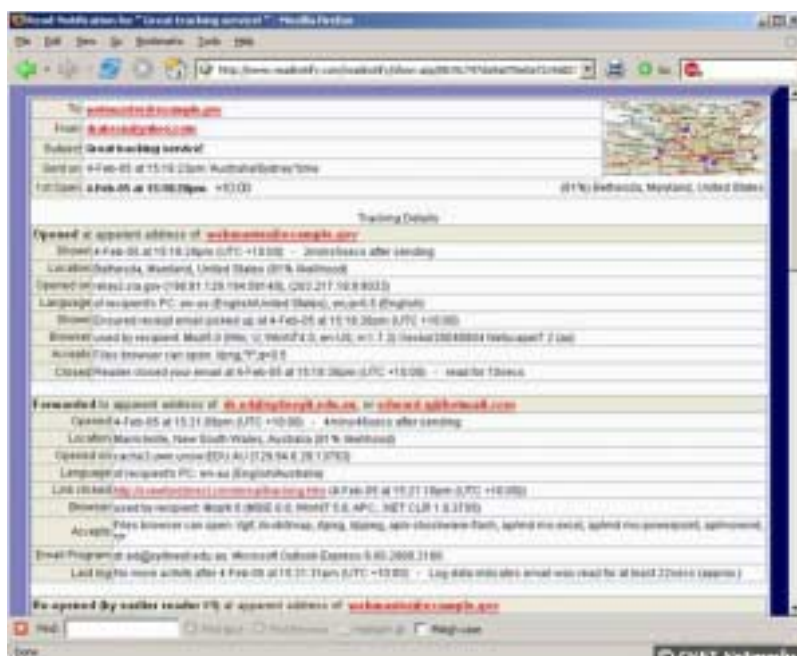
メールヘッダを見ればそのメールがReadNotifyを中継していることが分かります。ReadNotifyはプラグインを提供しています。プラグインはWebメールにも使え、これを使えばメッセージの追跡が簡単になります。

画面3



ReadNotify.comの有料ユーザは、MSオフィス文書やPDFファイルを追跡できます。これは文書に追跡指定をするページのスクリーンショットです。画面上の緑色のチェックマークのイメージを追跡する文書の中にドラッグ、ドロップするとその文書は追跡可能になります。このイメージはドロップした後に透明になります。

画面4



ReadNotifyは追跡指定したメールや文書に何が起こったかの詳細を報告します。報告は、何時、どんなPCで、どれくらいの時間、追跡指定したメールや文書が見られたか等の詳細を含みます。また、開いたPCのIPアドレスから、メールや文書を開いたPCの大よその場所を示す小さな地図も表示します。メールを転送すると転送先のPCのメールアドレスも表示します。メールを開くとそ

の都度報告します。